

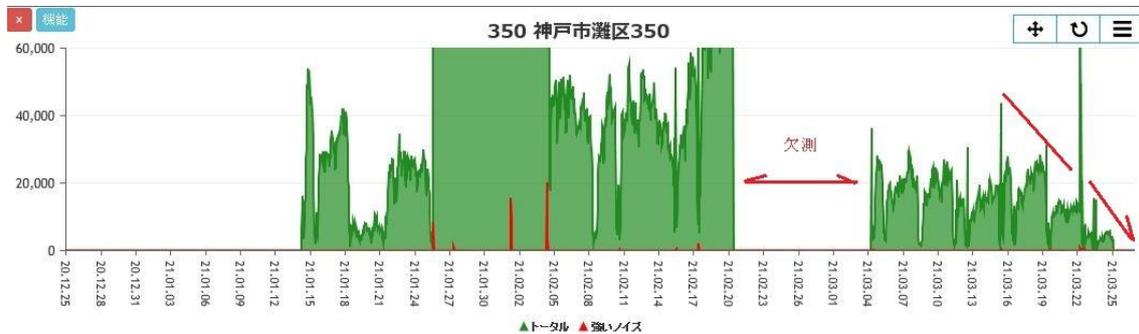
210325 神戸灘および周辺の異常について

3月24日の逆ラジオ通信にも載せましたが、神戸市灘区のMAX30万に近い緑色のかたまり状のデータががしだいに減衰してきています。緑色のかたまり状のデータはMAX50万位のものが高知県黒潮町にも出ています。また伊勢D484がMAX15万ほどの長期のデータになっていてここへきて減衰—収束の傾向になっています。さらに以前から懸案だった高知市介良のデータも直近10日間ほどのMAX40万ほどの山が収束してきています。こうした異常データの出ている観測点を西日本の地図に載せると中央は大阪、和歌山、あるいは紀伊水道あたりになります。かたまり状のデータは大地震の前兆として危険です。今週末がちょうど満月になることから、いわゆる満月トリガーにかかり大地震が発生しやすくなります。逆ラジオ通信にも書いたようにここしばらく、週明けあたりまでの間、近畿、関西地区の方はご注意ください。

神戸市灘区 90日間データ



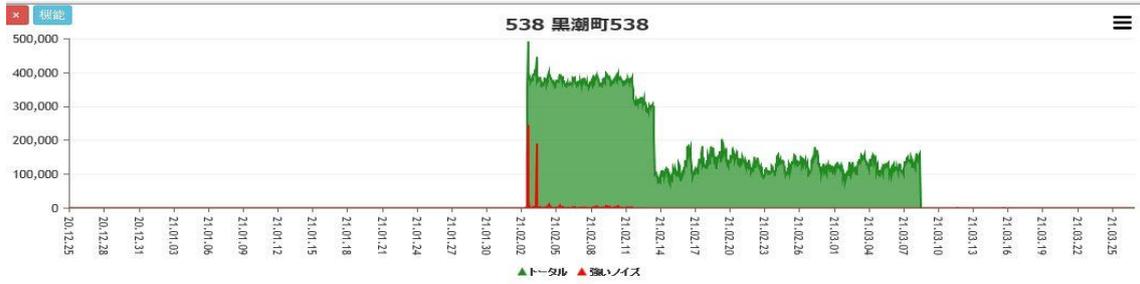
神戸市灘区 90日間データ (拡大)



神戸市灘区 30日データ



高知県黒潮町 90日データかたまり状 (参考)



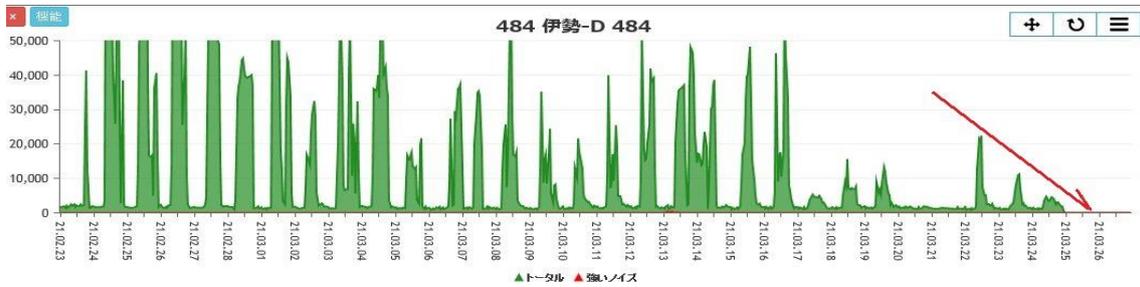
伊勢 D484 180 日間データ



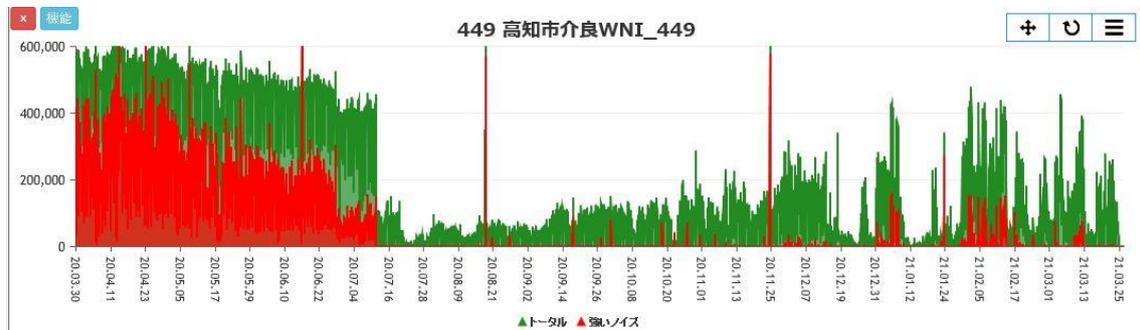
伊勢 D484 90 日間データ



伊勢 D484 30 日間データ



高知市介良 360 日間データ



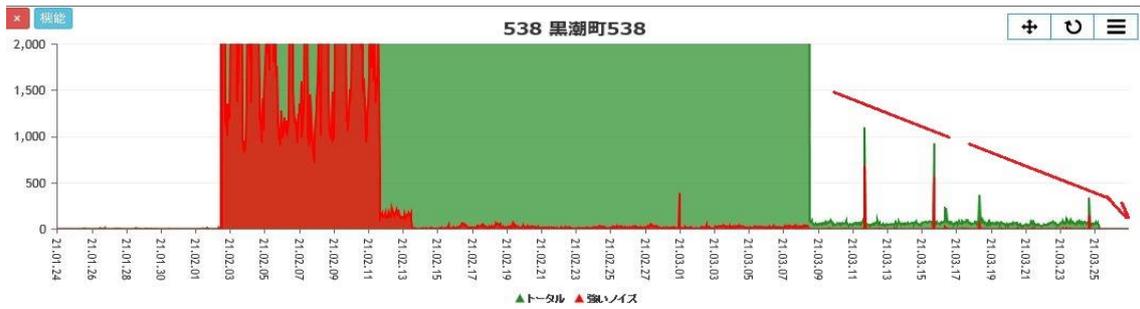
高知市介良 30 日間データ



高知県黒潮町 60日間データ



高知県黒潮町 60日間データ (拡大)



異常データの出ている観測点の位置関係

